

鬼北泉貨紙保存会が知ってほしい

～鬼北町の偉人

あぜちるいきち

畔地類吉～

皆さんは、畔地類吉を知っていますか？

畔地類吉は、泉貨紙の紙質の改善に尽力し、良質な泉貨紙を完成させた北宇和郡泉村上川の人物です。また、宇和島藩の組頭を勤めるとともに、同業者にも長年の経験から自得した方法を教え、大いに地方財政を豊かにしました。明治23年に亡くなった後、その功績が認められ、明治25年の第4回関西連合府県共進会において、河野敏鎌農商務大臣から追賞の表彰を受けています。畔地類吉のお墓は、今も上川の鎮守神社近くにあります。今の泉貨紙があるのも、畔地類吉の偉業があったからこそ。泉貨紙に携わることになった正木さんと栗野さんは、着任のあいさつをするため、平野さんとともにお墓参りに行ったそうです。

Interview

鬼北泉貨紙保存会会長

平野邦彦さん



栃木県宇都宮市から新
規就農者として鬼北町に
移住してきた私は、偶
然、隣の家に住んでいた
芝忠良氏が泉貨紙保存会
の会長を務めていたこと
がきっかけで、約22年前
に泉貨紙に出会いました。
当時の私は、田舎らしい
ことが体験できると思い、
興味本位で入会した記憶
です。きつと正木さんや
栗野さんも当時の私と同
じような思いで入会した

ところもあるのではない
でしょうか。

しかし、実際の現場に
は想像を超える苦労があ
ります。一見楽しそうに
見える紙漉きの作業では、
寒さの厳しい冬に暖房を
つけない環境で、冷たい
水に手を入れ続けなけれ
ばなりません。寒さによ
る、あかぎれやしもやけ、
立ちっぱなしの作業によ
り、腰を痛めることもよ
くあることです。さらに、
厚さにばらつきや、しわ
がない泉貨紙を安定して
漉くには、簡単には習得
できない高度な技術を必
要とします。それゆえ、
泉貨紙保存会の会員の
中でも、販売する泉貨紙を
漉ける人は、私を含め一
部の人たちだけです。

過去には回覧等で会員
を募集したことがありま
したが、後継者の定着に
は繋がらず、役場と相談
した結果、地域おこし協
力隊のミッションとして
全国的に募集をかけるこ
とにしました。正木さん
や栗野さん以外にも見学

に来た人がいたほど、多
くの人の興味を持っても
らえたようです。その中
からやる気に満ちた正木
さんと栗野さんが来てく
れました。会員の人数が
増えたことで、作業所
は例年以上の活気が出て
きています。

正木さんと栗野さん
は、私の知っている泉貨
紙に関する情報を全て教
えるつもりです。この数
カ月の間にも2人はどん
どん上達しており、今後、
泉貨紙に彼らの個性が出
てくると思うので、楽し
みにしています。

心配なのは、彼らの将
来についてです。現在の
泉貨紙保存会の活動だけ
で生活していくことは、
難しいものがあります。
地域おこし協力隊の任期
は3年。この3年の間に
どのような形で2人に引
き継いでもらうのか、ア
イデアを出し合いながら、
しっかりと考えていきたく
いと思います。2人の熱
意に負けないように私も
頑張っていきたいです。